

くすの木通信

三高だより第216号

「旅立ちに向けて」

3年学年主任 高津 裕貴子

3年生の皆さんが三高を巣立っていく日まで、あと1か月となりました。1月30日（金）からは家庭学習期間となり、卒業後の進路に向けてそれぞれが準備を進める時間となります。これから受験を控えている人たちはもうひと頑張りです。残りの期間でさらに力を伸ばして、悔いのないように戦ってください。教職員一同、心から応援しています。保護者の皆さまは御心配もあるかと存じますが、お子様が頑張り抜く姿をどうか最後まで見守っていただければと思います。進路が決まっている人たちは、新生活が始まるまでの2か月間を有効に使ってください。進学先や就職先で役に立つようなスキルを身に付けるのもいいですね。

さて、2月の登校日は、5日（木）、12日（木）、18日（水）、27日（金）です。18日には身だしなみ指導がありますので忘れずに整えておきましょう。大事な連絡や卒業式の練習もありますので、体調を整えてできるだけ欠席・遅刻をしないようにしてください。27日は菱門同窓会入会式と賞状授与式があり、そして3月1日（日）が卒業証書授与式となります。卒業式は学校にとって最も大切な行事です。厳粛かつ心温まる式となるよう準備を進めて参りますので、保護者の皆様もどうぞ御出席をお願いいたします。

最後になりましたが、本校の教育活動及びPTA活動に御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございました。残りわずかとなりましたが、最後までどうぞよろしくお願い申し上げます。

「フライングの勧め」

2年学年主任 野本 聡

1月も終わり、第2学年も残すところあと2ヶ月になりました。2月は3年生が家庭学習期間に入ること、1・2年生の480人余りの生徒が学校生活を送るようになり、2年生が学校のリーダー的役割を背負う時です。授業はもちろんですが、学校の内外を問わずリーダーとしての自覚ある言動をとることで、人間として更に成長することを期待します。また、この時期は、季節性のインフルエンザが流行する時期でもありますので、御家庭におかれましても健康管理に十分留意してください。

2年生の3学期は、学年の締めくくりであると同時に、3年生の0学期と言われるように、最終学年への準備の時期でもあります。毎週のように続く模擬試験や検定試験を通して、2年生の学習成果を確認するとともに、3年生での大学受験や就職試験への意識を高めてほしいと思います。保護者の皆様も、それぞれの時期にお子様がどんなことに取り組み、どんな悩みを抱えるかということを理解し、「受験生の保護者」としてお子様をサポートしてください。ゴールが決まっている進路レースに勝つには、フライングをして早くスタートを切ることが必要不可欠です。学年団としましても、2学期のホームルーム活動で、進路実現に向かって早くスタートさせ、目標達成に向けて努力するように指導をしています。御家庭におかれましてもお子様が健全な学校生活を送るよう、御理解・御協力をお願い致します。

「学びの場としての前提」

1 年学年主任 内海 篤彦

今年度も残りわずか、卒業のシーズンとなりました。過去、本校で私が担任をした卒業生の進路を思い浮かべると、国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校、公務員就職、地元企業を中心とした民間企業への就職、なかには海外への渡航など、他校と比較しても生徒数の多さ以上に多様性が高い印象を受けます。今年度は1 学年主任として1 年生を中心に三高生の日々の姿を見せていただきましたが、三高生の「多様な」進路に向かう「多様な」姿は、不思議なことに世代の違う過去の三高生たちと、何か「同じもの」を感じさせることが多くありました。「同じもの」にはポジティブな場面が多くありましたが、なかには同じようなトラブルが世代を変えて毎年のように起こるというネガティブなものもありました。（トラブルに思えた出来事が学びの機会になるパターンも多いので一概にネガティブとも言えませんが・・・。）

さて、この「三高生の多様性」や不思議な「同じもの」について考えるうち、これらを三島高校の「前提」として受け入れ、俯瞰してリフレーミング（Reframing）してはどうかと考えるようになりました。（リフレーミング：ものごとの枠組みを変えることで、ネガティブな見方をポジティブな見方に変換する手法のこと。）例えば「多様な」生徒がいることを「前提」として明確に意識し、三島高校を「まったく異なる個性や目的を持った生徒同士が、互いの存在を尊重・リスペクトして共生・競争・協働する学びの場」だとリフレーミングするのです。例えば、5 月に予定されている体育祭は生徒の強い感情が交錯する大きな学びの機会です。卒業を迎える3 年生が残してくれた「同じもの」、もしかしたらそれを「伝統」と呼んでもいいのかもしれませんが、新3 年生、新2 年生はその「伝統」を俯瞰してリフレーミングし、「前提」を踏まえながら一生懸命勝ちにこだわって自分たちを成長させる機会にしてほしいと思います。

保護者の皆様、本校の教育活動に多大なる御支援と御協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度の1 年生については一人ひとりはもちろん、学年集団としても大きく成長したのではないかと思います。2 年次に大きく飛躍する姿が楽しみです。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。